

3類型	鋳工業品	通巻番号	5-19-031
地域資源名	京くみひも、京房ひも・撚ひも、 京都の金属工芸品	認定日	平成20年2月15日
地域	京都府京都市	所管省庁	経済産業省

## 事業名：超軽量・装着型 手作り鎧兜キット「都よろい(仮称)」の開発と販売

会社名：鎧廼舎・うさぎ塾

所在地：京都市上京区今出川通大宮西入  
元北小路町155西陣今出川1002

連絡先：TEL：075-432-2210

H P： <http://www.usagijuku.com/>

FAX：075-432-2210

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・本地域は京都御所をはじめ、数多くの社寺仏閣が残る町である。このことから、伝統の建物やその装飾、京表具などに多く使用されている京金物や金属工芸品、神具・仏壇などに多く使われる京くみひも、撚ひも、京房ひもなど様々な技術が現代に受け継がれている。
- ・しかし、近年の生活様式の変化により、これら伝統技術を活用する製品の需要が激減し、また技術者の数も減少の一途を辿っている。
- ・本事業は、その伝統技術である京くみひもや京房ひも、金属工芸品の技術を活用した手作り鎧兜キットを製造販売しようとするものである。



【鎧廼舎・うさぎ塾】

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

- ・購入者自らが手作りでき、超軽量かつ装着型という点が、通常金属製で重量がある他の商品に優れており、骨材を紙製にしたことにより、本物の質感と軽量・装着製を同時に可能とした。
- ・京くみひも、京房ひもなどは、京都独自の伝統織・伝統色・伝統技術であり、他に類を見ないほどの高級品である。特に京都の金属工芸品の精巧さは秀逸で他の産地の技術では代用できないものである。



【鎧廼舎・うさぎ塾の紙鎧】

#### ◆市場性

- ・趣味創作や生涯学習の市場は、7,354億円程度であり、今後も十分な成長が見込まれる。
- ・また、自身の作品作りの他に、親子での共同製作や、祖父母が製作したものを孫が着用し、武者行列に参加したいなどのニーズもある。

#### ◆販路

- ・中高年向けのクラフト及び日本通の外国人を主たるターゲットとして、祭りなどのイベント、旅行会社への販路開拓やインターネット販売を進める。

### 地域資源における関係事業者との連携

- ・地元の生産・加工・流通に関わる企業・人材(京くみひも、京房ひも、京鋳金具、西陣織などの業者)を使うことで地域経済の活性化を図り、「鎧兜」の普及及び展開を進めていく。



【実際の祭りでの着用の様子】